

第 20 回 新木地区「地域会議」議事録

令和 4 年 6 月 19 日（日）

- 開催日時： 令和 4 年 6 月 19 日(日) 10:00～12:00
- 開催場所： 新木近隣センター 多目的ホール
- 出席者： (紙面の都合により割愛)
- 議題： 振り込め詐欺防止に向けて

■議事

1. 開会挨拶

<地域会議事務局長>

おはようございます、本日はご多忙の中お集まりいただきありがとうございます。これより第 20 回新木地区地域会議を始めさせていただきます。

今回初めての方もいらっしゃると思いますので、地域会議のこれまでの活動について簡単に説明させていただきます。平成 20 年に地域のコミュニケーションを図るための会議体としてまちづくり協議会が中心となって地域会議が発足しました。その後地域の皆様とのコミュニケーションを通して「新木防災」パンフレットを作成／配布、また高齢者の買い物支援もここで討議した内容を市が取り上げ、巡回移動販売が行われることになりました。

今回は振り込め詐欺がテーマとなります。地域の詐欺対策に頑張ってこられた方がおりますのでお話を伺おうかと思えます。

2. 我孫子市より

<市民協働推進課長>

みなさんおはようございます。先ほどお話ありましたように、移動販売は地域会議での買い物支援がきっかけとなって始まりました。また久寺家ではこのような地域会議がきっかけとなって自治会同士で水害が起きた際の避難所の協定を結ぶという実績があります。昨年度は天王台北側では各自治会が協力して点検して通学路の安全について千葉県警本部長／我孫子市長あてに提出して補修が行われるようになったという実績があります。

あびこ駅北側では、水害時のタイムラインについて同避難するかを話し合っ実績をいただいております。

これからも皆さんで情報交換をいただいて住みよい地域にしていければと思います。また皆さんと一緒に私どもも地域会議を支えていきたいと思えますので、よろしく願います。

<市民安全課長>

おはようございます。防災の件でも参加させていただきました。今回は振り込め詐欺防止に向けてということですが、警察からは、最近「還付金」というキーワードについて注意して欲しいと聞いています。

警察の方とお話すると、話がともうまくなかなか被害が減らない、自分はひっかからない、と思っている方ほど危ないということをお聞きします。電話だけで誘導して ATM で振り込ませる方法なので、犯人からすると足がつきづらく楽な方法なので、皆様の意識を高めるしかないという状況です。

詐欺被害が増えているということで、我孫子市では防災無線を利用して毎週水曜 10 時から定例的に詐欺についての情報を流させていただいております。防災無線では「電話で手続するようなことは絶対にありません」という内容で流させていただいていますが、防災無線を聞いていたおかげで電話を切ることができた、という話も警察からお聞きしております。

千葉県警では、「電話 de 詐欺」という名前を付けています。このワードを覚えていただければよろしいかと思えます。普段からでも世間話の中で話題にされるだけでも防止につながるのかなと思います。本日もご自宅に帰った後、ご家族と話し合いしていただけたらと思います。皆様の活動が防犯につながるということでよろしく願い足します、ありがとうございました。

3. 振込詐欺防止についてのお話し

<元新木団地自治会長 振り込め詐欺防止対策委員長>

自治会長になってから、警察講習会に複数回参加し質問を通して我孫子警察の方とお話しできたという経緯がありますので、本日は少しお話をさせていただこうと思います。

※以下、概略（詳細は配布資料参照）

・高齢者安全・安心ガイドブック

現場では「話は聞くけど、実際詐欺ってどんなの？」という声をいただきます。65 歳以上の夫婦世帯は 350 あり、新木団地では半分以上が 65 歳以上。どんな詐欺があるか、新木団地ではどんな活動をしているかを紹介させていただきます。

・電話 de 詐欺

電話・メール・はがきで、お金／キャッシュカード／電子マネーのワードが出てきたら、詐欺の犯人と直接話をしないことが大事。留守番電話、電話番号登録、非通知着信は取らない、警告・通話録音機能付き電話を利用などの対策がある。

・詐欺の種類

詐欺の人は言葉がとてもうまいです、コンビニで電子マネーを買って番号を教えるという方法が多い。

- おれおれ詐欺
- 架空料金請求詐欺
- 預貯金詐欺（電話をさせるのが狙い）
- キャッシュカード詐欺
- 還付金詐欺

・令和 3 年の我孫子市犯罪発生マップ

- 電話 de 詐欺の被害は、31 件を認知（去年より 5 件 UP）
- 電話 de 詐欺は新木野で一番多い

・警告・通話録音機能付き電話

- 千葉県警で 400 台用意しており、無料貸し出し
- 警告案内「通話内容を自動録音します」のメッセージ
- 市販品では¥6,800-程度（もっと安いのもある）

<質問>

・シールはとても良い。どこに行けば頂けるのか？どこが窓口化の案内もらえると嬉しい。

⇒警察で 1,000 枚作成（うち新木団地が 500 枚を注文）。警察の生活安全課にいけばもらえる。

⇒電話 de 詐欺は 250 枚。

⇒その他シールも話を持っていけば作成の協力してもらえるようだ。

⇒自治会にて独自で作るのも良い。

4. グループ討議

【1 班】

- なぜ、息子の声が判らないのか？

核家族で子供が独立し普段の会話が出来ていないため、言葉巧みな説明に気持ちが動揺してしまい詐欺に合う環境となっている

- 家族とのコミュニケーションを、会話を継続していくことが必要
- 電話に出るときは、すぐに名乗らずワンクッションおく
- 留守番電話を設定する

【2 班】

- 最近オレオレ詐欺その他の事案に高齢者が被害あう、事が多々ある。
- 高齢者が被害あいやすいのは、色々な情報についていけないからと思う。
- 対策として、留守番電話機能付きの機器活用が良い、その為地域の皆さんが市などに、補助金の運動し留守番電話機能付き機器の高齢者家庭に導入の運動を推進することが一番良い対策だと思います。

（Wb、ネットは高齢者には不向きである）

【3 班】

- 高齢者の見守りネットワークでは、45 人を見守っている。我孫子市内でも新木地区は 6 件で一番多いというのが注目される。おれおれ詐欺の電話を受けた方が 11 人中 4 人ということで、これから意識を高めていく必要があると思う。
- 固定電話は直接出ないことにしている。留守電メッセージを聞いてから出るようにしている。電話口で「母さん」なんて呼ばれたが、「うちの息子は母さんとは言わない」と言ったら切られたw。
- ショートメールで電気代が振り込まれませんといったものを受けた。うちもパソコンでも頻繁に怪しいメールを受けるが無視している。
- 電話やメールはなぜ受けるのか、どこから情報を受けるのか？を考えてみた。
 - 個人情報の流出だろうが、名簿業者がいるのだと思われる。
 - 何か別件で捕まった人が、そのような名簿を持っていたという話を聞いたことがある。
 - 自治会の名簿なども管理しないと危ない。
- 2 回被害を受けた方もいる。1 件目は 8 年前で旦那さんが受けた。カードが使われている。最近、一人暮らしの奥さんが同じような被害を受けた。警察官のような服装をした男女が訪問し、名刺を受けて信用してし

まった。「あなたのカードが使われている」と言われ暗証番号を教えてしまい、20万くらいの被害だった。

- 自治会名簿から電話番号が流出することは多いと思う。新木団地の自治会では名簿は配布をしていない。
- 父や母に電話がかかってくることがある。被害を減らすためにはどこに力を入れれば良いか？を考えてみる。まず「電話をかけさせない」、「電話に出ても切らせる」、「被害後に犯人を捕まえる」の3パターン。「電話をかけさせない」のが根本だと思う。うちの自治会では名簿を配っており、なくすのは反対が根強い。個人的には非常に問題であると思っている。
- 新木まち協でも、数年前までは名簿は配っていたが、各部長のみに渡している。必要な時は部長に見せてもらう。みまもりネットワークでも、名簿には番号を振って、返してもらう。新しいのをもらった前のを返す。
- 被害にあった人および会いそうになった人は、リストが作られていると考えた方がいい。闇用語で、A客・B客・C客というのがあるらしい。A客（だまされたことがある人）B客（だまされそうな人）C客（だまされない人）
- 犯人は下見を行うこともあるらしい。高齢者の方は施錠していないというのはホント。昔は鍵を閉めないのが普通だった。急に戸締りをしっかりするとしても急には習慣は変えられない。被害の話をしたり、急に訪問したりして危機意識を覚えていただくとかが必要かも？普段からお話をして啓蒙していく必要があると思う。
- 以前飛び込みの営業をしていたが、営業お断りのシールがあっても気にしなかった。効果がないとは言わないが、それで大丈夫と慢心するのは危険。
- 銀行など詐欺被害の補償のような制度もあるらしい（詳細不明）
- 被害にあった後のケアも気にかかる。身内で不幸があったが、被害後のケアは必要だと思う。年寄りなど、精神的なストレスをととても大きい。人によって生活に支障をきたすほど。
- 被害にあった方の情報は警察でも教えてくれないので、親族や近隣くらいしかケアできない。
- 精神的なケアについてはどこまで立ち入ってよいか考えてしまう。できるだけ寄り添っていきたい。被害を受けた人も本当は誰かにしゃべりたい、という人も多いと思う。
- 支払い済みだったのに、2回請求の詐欺にあった方から相談があった。気づかないこともあると思う。
- 先ほど説明のあった警告・通話録音機能付き電話は良いと思う。市の方でも助成金などの協力できればよい。
- 名簿の在り方についても考え直す必要もありそう。
- 支援学校でも個人情報扱っているのが相当気を使っている。どこでどんな情報を扱っているかを管理するところから大変である。管理する側の注意・責任も必要になってくる。取り扱う人の意識が浸透していないと、うまくいかない。窓口の人は、説明するスキルも必要。全員が納得するのは難しい。説明のためのメモも用意されている。原本のありがたさが周知されていけばよいという考え方がある。

【4班】

- 私の自宅にもオレオレ詐欺の電話があった。娘が事故を起こしたと我孫子警察から電話があったが、たまたま娘は出張中。おかしいと思い警察の部署を尋ねたら切られてしまった。
特に高齢者は「話し相手が欲しい」ので、電話にも対応してしまうことが多いと思う。対策はいろいろと考えられるが、まずは隣近所との付き合いで、何かあったらちょっと相談できる関係を作ることと思う。日頃から話すことで、誰かと話したい欲求も解消できる。
- 知らない人からの電話は「出ない」、「すぐに切る」こと。電話を切るにも勇気がいるので、思い切って切っても

大丈夫という習慣を作ることが大事。

- 電話を切る勇気がなかなかないので、知らない人の「電話には出ない」と決めておくとい。番号通知機能や留守番機能、録音機能など新しい電話機が数多く販売されているので、ぜひ検討すると良いと思います。
- 高齢者でも認知症の方は電話を使わないので、その手前の方々が危ない。「寂しいので誰でもいいから話したい」、「あまり人を疑わない」、「途中で切る勇気がない」など様々ある。電話で詐欺の被害をなくすには、日ごろからの啓発活動が大事。電話機の買い替えや自治体の資金援助、機材提供など、一步踏み込んだ対策も必要である。
- 小学校では電話で詐欺以上に、「ネットモラル」教育が急務となっている。
- 高齢者でも電話以外にメールでの詐欺も合いやすい。最近はラインやメールも経験する高齢者も増えていて、「簡単に信用する」、「難しい操作ができない」ことから騙されてしまう。
- マイナンバーカード普及に伴い、これをテーマにした詐欺にも注意したい。
- 詐欺師はプロなので、どんなに注意していても騙されてしまうと思ったほうが良い。「私だけは大丈夫」は通用しないので、機械に頼るのが確実である。対策付きの電話も販売されており、市からも買い替え補助などの対策をお願いしたい。
- 高齢者は会話に飢えているので、ゴミ出しでの立ち話しや大掃除での皆さんとの会話、お茶会など、自治会が検討し実施していくことが重要。とにかくちょっとしたイベントも数多く実施することで、隣近所とも顔見知りになり、会話できるようになっていく。
- 古くからの自治会は親との住まいが近く、同じ敷地内に親子が住んでいるケースが多いので、おかしいなと思ったらすぐに相談できるので被害は少ない。ただしこれからは更に高齢化が進んでいき、判断があやふやとなるので、日ごろからの啓発は更に進めていきたい。
- 対策は多種にわたるので、この地域会議で更に話し合っていきたい。災害対策でも同様だが、地域コミュニケーションの大切さがわかった。

5. まとめ

<地域会議事務局長>

現状はコロナ禍により、近隣の方とのお話もずいぶん減ってきたという声も聞こえています。このような環境の中で詐欺による被害を減らしていくため、普段から意識を高めていくことが必要だと思いました。また、今回振り込め詐欺ということでお話をさせていただきましたがもう1回くらいこの議題でお話しても良さそうに思いました。今後も皆様にはご協力をいただきたいと思います。また19回新木防災の意見をまとめたものをお配りしていますので、ご覧になりましてまた皆さんからご意見をいただきたいと思います。

本日は活発な意見交換ができました、ありがとうございました。

※配布資料

- 1) 第20回新木「地域会議」(資料)